

第35回 細胞生理学セミナー/GTRセミナー

2023.6.7 16:30 - 18:00

@ 創薬科学研究館 2階講義室 & オンライン開催

加藤孝郁 博士

Department of Biochemistry, The University of Oxford (Simon Newstead group)

“Cryo-EMで小さい膜タンパク質に挑む
～分子量と言う『壁』突破に向けて～”

加藤孝郁博士は、東京大学理学研究科濡木研究室で学位取得後、トランスポーターの構造機能研究を世界的に牽引するOxfordのNewstead研に海外学振PDとして参加しました。単粒子解析では一般的に、比較的大きく構造的な特徴があった方が構造が決定しやすい性質があるところですが、博士は特にトランスポーターの様な「小さい」膜タンパク質の単粒子解析を数多く手がけてこられました。今回はこのような難易度の高いトランスポーターの構造機能研究の最新の結果、また構造解析のストラテジーを実例を交えてご紹介頂きます。

基本的に対面での講演になりますが、Zoomによるオンラインでの参加をご希望の方は阿部 (kabe@cespi.Nagoya-u.ac.jp) までご連絡ください。

大学院創薬科学研究科 先端薬科学特論: 単位認定講義



GTR
Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

連絡先

名古屋大学細胞生理学研究センター 阿部 一啓

kabe@cespi.nagoya-u.ac.jp 052-747-6838